

事業番号

0249

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	ナショナルバイオリソースプロジェクト	担当部局庁	研究振興局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度～	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 板倉康洋				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅸ－２ 科学技術振興のための基盤の強化					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	－	関係する計画、通知等	知的基盤整備計画について(平成19年9月4日科学技術・学術審議会技術・研究基盤部会)、新たなライフサイエンス研究の構築と展開(平成21年12月ライフサイエンス委員会)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	作製された実験用動植物等を中核機関に収集するとともに、厳格な管理体制の下で効率的な保存を行い、実験の再現性を担保するような遺伝的に安定した質の高い実験用動植物等を研究機関に提供することにより、ライフサイエンス研究の基盤を整備する。また、収集・保存・提供等に係る技術開発や、系統・特性情報、ゲノム配列等の遺伝子情報を付加し、実験用動植物等の独自性・先導性を高める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学、研究機関等を対象に実施機関を公募し、実験用動植物等の収集・保存・提供を行う拠点の体制整備やバイオリソースの系統・特性情報、ゲノム配列等の整備、保存や品質管理の技術開発、バイオリソースの所在情報や遺伝情報のデータベースの構築を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	1,368	1,338	1,325	1,425	1,425	
		補正予算	－	－	－	－		
		繰越し等	－	▲9	10	－		
	計	1,368	1,329	1,335	1,425	1,425		
	執行額	1,368	1,329	1,335				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	実験動物(ショウジョウバエ)の系統保存数(系統数)及び実験植物(イネ)の系統保存数(株数)	成果実績	系統数 株数	41,832 16,675	42,182 17,967	42,750 18,981	－	
		達成度	%	－	－	－		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	機関数及び課題数		活動実績 (当初見込み)	機関数 課題数	34 64	35 68	33 65	－
単位当たりコスト	21(百万円/機関)		算出根拠	21(百万円/機関) ＝(平成23年度執行額:1,335百万円)／(課題数:65)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	科学技術試験研究委託費	12.0百万円	9.6百万円					
	研究開発施設共用等促進費補助金	1410.9百万円	1413.3百万円					
	諸謝金	0.2百万円	0.2百万円					
	職員旅費	1.1百万円	1.1百万円					
	委員等旅費	0.6百万円	0.6百万円					
	庁費	0.2百万円	0.2百万円					
	計	1425百万円	1425百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)において、研究材料等の知的基盤については、整備の促進が必要なものとして位置づけられている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・公募により実施課題を募集し、公正なプロセスで課題選考を実施している。 ・全ての実施課題について、業務計画書を精査し、適切な支出を行っている。 ・支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・全ての実施課題について実績報告書を提出させ、また必要な場合には運営委員会等への出席により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について毎年度確認している。 ・類似の事業については、(独)農業生物資源研究所農業生物資源ジーンバンクは産業での活用に直結するようナリソースの収集を目的としているのに対し、文部科学省は学術的に価値の高い物を収集することを目的としていることから、適切な役割分担となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	○交付した本補助金については、設備等が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を厳格に実施することにより、支出先・使途を確認・把握している。 ○実績報告書の提出、研究機関へのサイトビジット等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について毎年度確認している。 ○バイオリソースの収集・保存・提供を中核拠点において一元的に行うことにより、効率的かつ適正な品質管理が図られるとともに、バイオリソースの利用に際してのアクセスも容易となっている。更には、高品質のバイオリソースを提供することにより再実験等の無駄を省くことで研究費をより有効に活用できる効果もある。 ○バイオリソースの保存に係る運営コストを削減するための凍結保存等の技術開発や、一度途絶えると二度と復元できない貴重なバイオリソースを広域災害等から保護するためのバックアップの整備等をより一層進めるべき。		
	○点検結果		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点：本事業は、ライフサイエンス研究の基盤として、遺伝的に安定した質の高い実験用動植物等の提供等を行う公募型事業であり、長期継続事業及び類似事業等の観点から検証を行った。 2. 所見：本事業は、平成21年度に補助金化するなど、過去のレビュー結果等を踏まえ、23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価できる。なお、引き続き、事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業内容を再点検するなど、他府省の類似事業との適切な役割分担を維持すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	1. 継続的に事業を行っている課題については、事業の進捗状況等を踏まえて計画の見直しを行うなど必要経費を精査し、物品費、旅費等の経費の効率化を図り、概算要求額に▲22.88百万円を反映した。 2. 各生物種ごとに設置されている運営委員会に、本事業実施者のみならず他府省類似事業実施者にも委員として参画してもらい意見交換を行うことで、事業内容の重複を防ぐ等適切な役割分担の維持に引き続き努める。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<政策評価書> ○政策評価書記載ページ：http://www.mext.go.jp/a_menu/hyoka/kekka/1291037.htm <関連ホームページ等> ○事業のホームページ：http://www.nbrp.jp/			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0246	平成23年行政事業レビュー	0236

文部科学省

1, 335百万円

諸謝金 1.3百万円
職員旅費 1.2百万円
委員等旅費・庁費 0.9百万円 } を含む

作製された実験用動植物等を中核機関に収集し、また厳格な管理体制の下で効率的な保存を行い、実験の再現性を担保するような遺伝的に安定した質の高い実験用動植物等を研究機関に提供することにより、ライフサイエンス研究の基盤を整備する。
また、収集・保存・提供等に係る技術開発や、系統・特性情報、ゲノム配列等の遺伝子情報を付加し、実験用動植物等の独自性・先導性を高める。

〔公募・補助〕

A. ナショナルバイオリソースプロジェクト
: 1,319百万円

大学・独立行政法人等(全35機関)

実験用動植物等の収集・保存・提供体制を行う拠点の整備やバイオリソースの系統・特性情報、ゲノム配列等の整備、保存や品質管理の技術開発、バイオリソースの所在情報や遺伝情報のデータベースの構築を実施。

〔公募・委託〕

B. ナショナルバイオリソースプロジェクト支援事業
: 12百万円

独立行政法人(1機関:科学技術振興機構)

ナショナルバイオリソースプロジェクトに係る公募、審査、交付等に関する事務手続き等を支援。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.大学共同利用機関法人自然科学研究機構			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業実施費	消耗品費、雑役務費、その他	140			
	人件費	研究者及び研究補助者	28			
	設備備品費	サルの飼育	1			
	計		169	計		0
	B.独立行政法人科学技術振興機構			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	支援業務委託費	12			
	計		12	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	ライフサイエンス研究用ニホンザルの飼育・繁殖・供給	169	—	—
2	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	情報発信体制の整備とプロジェクトの総合的推進	137	—	—
3	国立大学法人京都大学	ラットリソースの収集・保存・提供	96	—	—
4	学校法人東京女子医科大学	線虫欠失変異体の収集・保存・提供	88	—	—
5	国立大学法人京都工芸繊維大学	ショウジョウバエ遺伝資源の収集・総合的維持管理・提供	74	—	—
6	国立大学法人京都大学	ライフサイエンス研究用ニホンザルの飼育・繁殖・供給	52	—	—
7	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	原核生物遺伝資源(大腸菌・枯草菌)の整備と活用	42	—	—
8	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	メダカ先導的バイオリソース拠点形成	41	—	—
9	国立大学法人宮崎大学	ミヤコグサ・ダイズ遺伝資源の収集・保存・提供および諸特性の評価	35	—	—
10	国立大学法人九州大学	カイコ遺伝子資源の収集・高品質化と効率的保存・供給体制の整備	34	—	—

※補助事業

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人科学技術振興機構	ナショナルバイオリソースプロジェクト事業の課題採択における審査、研究の評価、事業の管理等の支援事務	12	企画競争	—